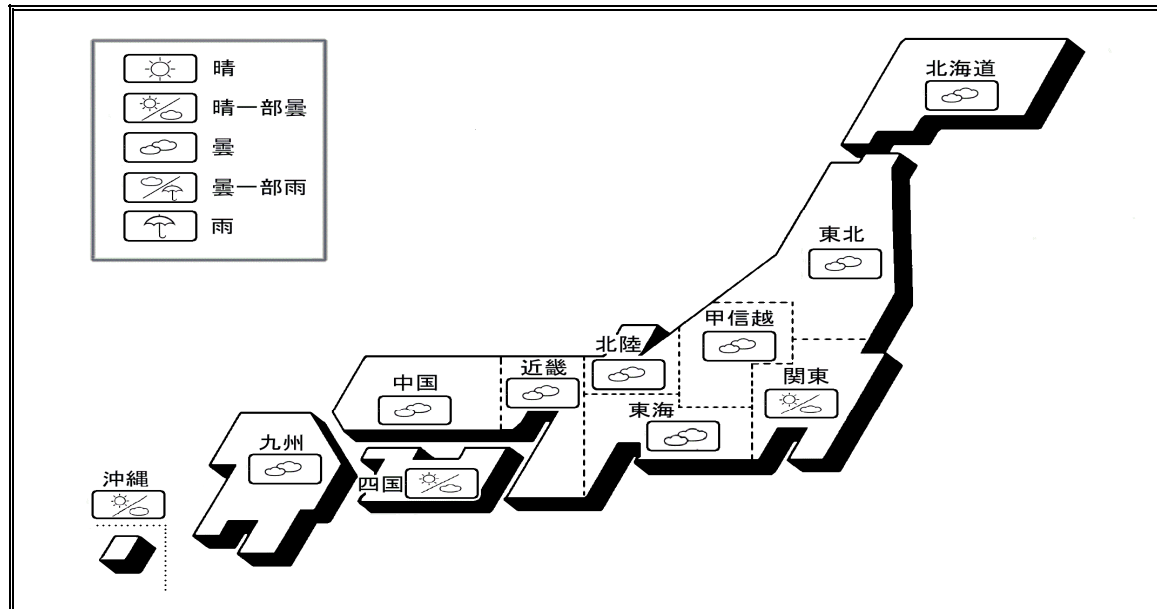


地方経済天気図(最終回)

～緩やかな持ち直し～



各地の景況感



- ・北海道...設備投資は持ち直し。観光は回復に向けた動き。輸出は弱含み。
- ・東北...設備投資は緩やかな持ち直しの動き。生産活動は概ね横這い。個人消費はやや弱含み。
- ・甲信越、北陸...個人消費は緩やかな持ち直し。住宅建築は上向き。輸出は弱含みないし足許減少。
- ・東海、近畿...公共工事は上向きないし足許増加。生産活動は回復に向けた動き。輸出はやや弱含みないし足踏み。
- ・中国...設備投資、生産活動は持ち直し。観光はやや弱含み。
- ・九州...設備投資は緩やかな持ち直しの動き。観光は上向き。生産活動は足踏み。



- ・関東...個人消費は持ち直し。公共工事は上向き。住宅建築は減少傾向。輸出は弱含み。
- ・四国...設備投資は持ち直し。観光は上向き。住宅建築は減少傾向。
- ・沖縄...個人消費は堅調。観光は回復。公共工事は減速。

地域別天気マークの推移・詳細（2019年3月）

	2018年						2019年					
	3月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道		→										
東北		→										
関東		→										
甲信越		→										
北陸		→										
東海		→										
近畿		→										
中国		→										
四国		→										
九州		→										
沖縄		→										

	景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
北海道									
東北									
関東									
甲信越									
北陸									
東海									
近畿									
中国									
四国									
九州									
沖縄									

(注) 矢印は、前月から天気マークが変わったことを表す。

<参考> 地方経済天気図D I^(注)の変化と景況判断

	2019年		
	1月	2月	3月
景況判断：緩やかな持ち直し	60.2	57.8	53.9
景況見通し：持ち直しの動きが続く	57.9	57.1	55.6
個人消費：乗用車販売が増加したものの、大型小売店販売が減少するなど、弱含み	53.1	47.7	49.2
住宅建築：分譲住宅が増加したものの、貸家が減少するなど、横這い圏内の動き	46.9	51.6	49.2
設備投資：製造業、非製造業ともに投資を積み増す動きがみられる	60.2	57.0	56.3
公共工事：独立行政法人等、都道府県、市町村が増加したものの、国が減少するなど、足許減少	51.6	52.3	47.7
輸出：原動機、船舶が増加したものの、鉄鋼、半導体等製造装置が減少するなど、弱含み	54.8	52.9	40.4
生産活動：非鉄金属、電気機械が増加したものの、鉄鋼、電子部品・デバイスが減少するなど、足踏み	59.4	50.0	48.4
観光：入込客や宿泊客が増加するなど、上向き	57.8	62.1	60.3
雇用情勢：有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善	60.2	60.2	58.6



(注) 地方経済天気図D Iとは、本調査に回答した全国地方銀行協会加盟行の景況や需要項目等に関する現況判断(好転・不変・悪化)を数値化したもの。算式は以下のとおり。

$$D I = \frac{\text{「好転」} \times 1.0 + \text{「不変」} \times 0.5 + \text{「悪化」} \times 0.0}{\text{回答銀行数}} \times 100$$

各地の状況

北海道 

北海道の景況は、輸出が弱含んだものの、設備投資が持ち直し、観光が回復に向けた動きとなるなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、インバウンド需要の回復から大型小売店販売が増加するなど、持ち直しの動き。住宅建築は、貸家が減少したものの、持家、分譲住宅が増加するなど、足許増加。設備投資は、観光客受入態勢強化投資や市街地再開発投資がみられるなど、持ち直し。公共工事は、市町村が増加したものの、国、独立行政法人等、道が減少するなど、足許減少。輸出は、船舶が増加したものの、自動車部分品や有機化合物が減少するなど、弱含み。

生産活動は、窯業・土石製品、鉄鋼が減少したものの、食料品、金属製品が増加するなど、底離れの動き。観光は、地震の影響が解消し、入込客が増加するなど、回復に向けた動き。雇用は、有効求人倍率が上昇するなど、回復。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

東 北 

東北の景況は、個人消費がやや弱含み、生産活動が概ね横這いで推移しているものの、設備投資が緩やかな持ち直しの動きとなるなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が増加したものの、身の回り品を中心に大型小売店販売が減少し、乗用車販売も減少するなど、やや弱含み。住宅建築は、持家、貸家、分譲住宅いずれも減少するなど、足許減少。設備投資は、能力増強投資を中心に製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、緩やかな持ち直しの動き。公共工事は、独立行政法人等、市町村が増加したものの、国、県が減少するなど、減少傾向。輸出は、繊維製品、船舶が増加したものの、紙・板紙、精密機器類が減少するなど、足許減少。

生産活動は、一般機械、電気機械が増加したものの、電子部品・デバイス、輸送機械が減少するなど、概ね横這い。観光は、宿泊客が増加するなど、上向き。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、回復に向けた動き。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

(注) 景況判断の文言は、会員銀行からの報告をもとに当協会でき取りまとめたもの。

関東

関東の景況は、住宅建築が減少傾向、輸出が弱含んだものの、個人消費が持ち直し、公共工事が上向くなど、回復。

個人消費は、乗用車販売が減少し、飲食料品や衣料品を中心に大型小売店販売が伸び悩んだものの、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が増加するなど、持ち直し。住宅建築は、持家、分譲住宅が増加したものの、貸家が減少するなど、減少傾向。設備投資は、製造業を中心に投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直し。公共工事は、市町村が減少したものの、国、独立行政法人等、都県が増加するなど、上向き。輸出は、荷役機械、原動機が増加したものの、半導体等製造装置、自動車が増加するなど、弱含み。

生産活動は、石油製品、輸送機械が増加したものの、食料品、一般機械が減少するなど、足踏み。観光は、外国人の宿泊客が増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢
		↓ 			↓ 			

甲信越

甲信越の景況は、輸出が弱含んだものの、個人消費が緩やかな持ち直しの動き、住宅建築が上向くなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、衣料品を中心に大型小売店販売が減少したものの、ドラッグストア販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。住宅建築は、貸家が減少したものの、持家、分譲住宅が増加するなど、上向き。設備投資は、製造業で工場新設投資や情報化投資、非製造業で情報化・省力化・合理化投資がみられるなど、持ち直し。公共工事は、独立行政法人等が増加したものの、国、県、市町村が減少するなど、弱含み。輸出は、鉄鋼、金属鉱・くずが減少するなど、弱含み。

生産活動は、食料品、パルプ・紙・紙加工品が減少したものの、化学、電気機械が増加するなど、持ち直しの動き。観光は、入込客が増加するなど、上向き。雇用は、新規求人数が増加し、有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善傾向。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢
								

北 陸

北陸の景況は、輸出が足許減少したものの、個人消費が緩やかな持ち直し、住宅建築が上向くなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、大型小売店販売が減少し、乗用車販売も減少したものの、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が増加するなど、緩やかな持ち直し。住宅建築は、貸家が減少したものの、持家、分譲住宅が増加するなど、上向き。設備投資は、能力増強投資や省力化投資を積み増す動きがみられるなど、緩やかな持ち直しの動き。公共工事は、国、独立行政法人等、県、市町村いずれも増加するなど、上向き。輸出は、地場産業の眼鏡枠・眼鏡が減少するなど、足許減少。

生産活動は、プラスチック製品、電子部品・デバイスが減少したものの、繊維、金属製品が増加するなど、概ね横這い。観光は、温泉地の宿泊客が減少するなど、弱含み。雇用は、建設業や製造業を中心に新規求人数が増加し、有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

東 海

東海の景況は、輸出がやや弱含んだものの、公共工事が上向き、生産活動が回復に向けた動きとなるなど、持ち直し。

個人消費は、衣料品を中心に大型小売店販売が減少したものの、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。住宅建築は、持家、分譲住宅が増加したものの、貸家が減少するなど、足許減少。設備投資は、大型投資がみられるなど、持ち直しの動き。公共工事は、国、県が減少したものの、独立行政法人等、市町村が増加するなど、上向き。輸出は、石油製品、原動機が増加したものの、プラスチック、輸送用機器が減少するなど、やや弱含み。

生産活動は、化学、情報通信機械が減少したものの、一般機械、電気機械が増加するなど、回復に向けた動き。観光は、宿泊客が増加するなど、上向き。雇用は、新規求人数が増加し、有効求人倍率が上昇するなど、改善。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

近畿

近畿の景況は、輸出が足踏みしたものの、公共工事が足許増加、生産活動が回復に向けた動きとなるなど、持ち直し。

個人消費は、飲食料品や衣料品を中心に大型小売店販売が減少したものの、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、上向き。住宅建築は、持家、貸家、分譲住宅いずれも増加するなど、上向き。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、緩やかな持ち直しの動き。公共工事は、国、市町村が減少したものの、独立行政法人等、府県が増加するなど、足許増加。輸出は、半導体等製造装置、電池が減少するなど、足踏み。

生産活動は、鉄鋼、金属製品が減少したものの、電気機械、輸送機械が増加するなど、回復に向けた動き。観光は、宿泊施設の客室稼働率が高水準で推移するなど、持ち直し。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

中 国

中国の景況は、観光がやや弱含んだものの、設備投資、生産活動が持ち直すなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、衣料品を中心に大型小売店販売が減少したものの、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、上向き。住宅建築は、貸家が減少したものの、持家、分譲住宅が増加するなど、足許増加。設備投資は、製造業で能力増強投資がみられるなど、持ち直し。公共工事は、独立行政法人等が減少したものの、国、県、市町村が増加するなど、上向き。輸出は、化学製品が増加したものの、鉄鋼、半導体等製造装置が減少するなど、やや弱含み。

生産活動は、化学、窯業・土石製品が減少したものの、鉄鋼、一般機械が増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。観光は、観光施設の入込客が伸び悩むなど、やや弱含み。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、回復に向けた動き。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								


四 国

四国の景況は、住宅建築が減少傾向にあるものの、設備投資が持ち直し、観光が上向くなど、回復。

個人消費は、衣料品を中心に大型小売店販売が減少したものの、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、持ち直しの動き。住宅建築は、持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少するなど、減少傾向。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直し。公共工事は、独立行政法人等、県、市町村が増加したものの、国が減少するなど、足許減少。輸出は、輸送用機器が増加したものの、紙類が減少するなど、やや弱含み。

生産活動は、石油製品、一般機械が減少したものの、非鉄金属、電気機械が増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。観光は、観光地の入込客が増加するなど、上向き。雇用は、有効求人倍率が上昇し、現金給与総額が増加するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

九 州

九州の景況は、生産活動が足踏みしたものの、設備投資が緩やかな持ち直しの動き、観光が上向くなど、持ち直し。

個人消費は、乗用車販売が増加したものの、飲食料品や衣料品を中心に大型小売店販売が減少するなど、やや弱含み。住宅建築は、持家、分譲住宅が増加したものの、貸家が減少するなど、減少傾向。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、緩やかな持ち直しの動き。公共工事は、県が増加したものの、国、独立行政法人等、市町村が減少するなど、足許減少。輸出は、電気機器、自動車が増加したものの、鉄鋼、化学製品が減少するなど、足踏み。

生産活動は、非鉄金属、窯業・土石製品が増加したものの、電子部品・デバイス、輸送機械が減少するなど、足踏み。観光は、観光施設の入込客が増加するなど、上向き。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								

沖 縄

沖縄の景気は、公共工事が減速したものの、個人消費が堅調、観光が回復するなど、好調。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、食料品や化粧品を中心に百貨店販売が増加し、家電販売も増加するなど、堅調。住宅建築は、持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少するなど、足許減少。設備投資は、建築着工床面積が増加するなど、堅調。公共工事は、国、独立行政法人等、県、市町村いずれも減少するなど、減速。輸出は、一般機械、精密機器類が減少するなど、足許減少。

生産活動は、プラスチック製品、窯業・土石製品、金属製品が増加したものの、食料品、鉄鋼が減少するなど、概ね横這い。観光は、国内客・外国客ともに入込数が増加し、宿泊施設の客室稼働率も上昇するなど、回復。雇用は、有効求人倍率が上昇し、完全失業率が低下するなど、改善。

先行きは、好調が続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
				 